

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名 ダイナミック・スウィングパール	投球者 徳江 和則	センター 平和島スターボウル
RG 2.482	△RG 0.047	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール

テストボール：ダイナミック・スウィングパール

フレアーの幅 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 番

PAPからピンとの距離
4-1/2 インチ

研磨剤

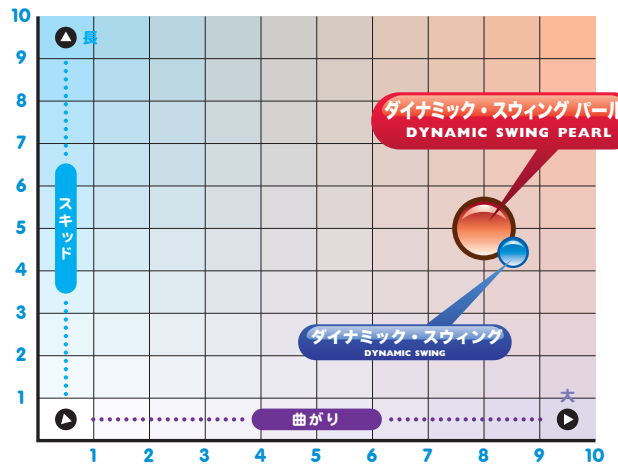
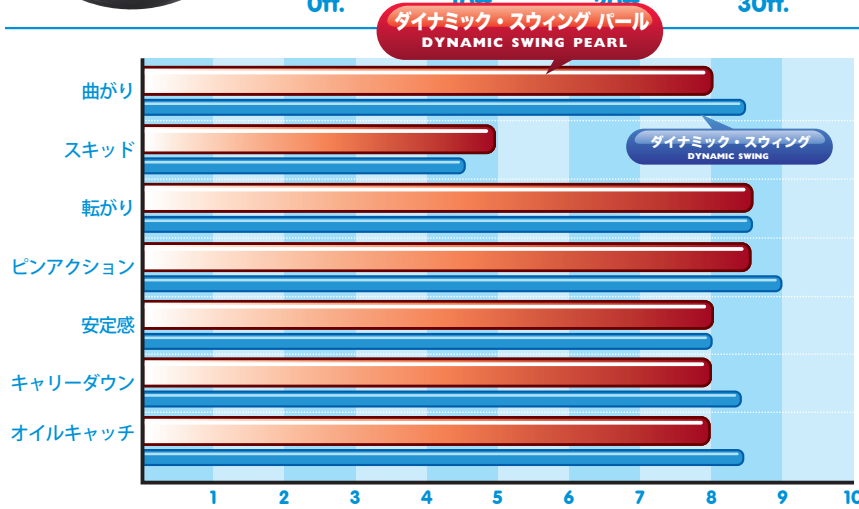
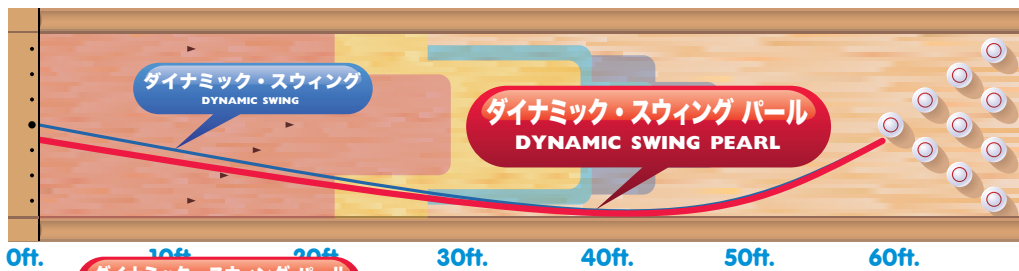
比較対照ボール：ダイナミック・スウィング

フレアーの幅 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 番

PAPからピンとの距離
4-1/2 インチ

研磨剤



ボールの評価

以前COLUMBIAで伝説とされたFULL SWINGは前作DYNAMIC SWINGとして生まれかわり、柔らかいフリップ状の動きから一気に向きを変え、俊敏さを伴う動きのボールとして再びこの世に輩出されました。

その性能をになうカバーストックのERT Hybridは現COLUMBIA社の中では強めのカバーですがオイルゾーンを抜けてから摩擦力が強く、その特性がDYNAMIC SWINGに独特な切れ味を感じさせる性能を導きだしているのが伺えます。

今回のDYNAMIC SWING PEARLはERTカバーストックのPearlバージョンで、さらに奥の動きに焦点をあてる目的で仕上げられています。テストングでまず一番印象に残ったのは、バックエンドの動きが凄く強調されているところでしょう。前作でも奥の動きは強調されていましたが、このDYNAMIC SWING PEARLはさらに過激に動きます。Pearl素材になったことでスキッドの長さは増し、対応オイルはやや弱まった感じはあるのですが、その分奥の動きに「おつり」が出ているので不安なく外に向けて戻すラインを取れます。戻りが強く明確なので、オイルに対しての比較よりもライン幅の恩恵を感じられ、コンディション次第ではDYNAMIC SWINGよりDYNAMIC SWING PEARLのほうが曲がりを感じる場合さえあるでしょう。DYNAMIC SWINGとDYNAMIC SWING PEARL双方を比較投球してみると、オイルのとらえ方はDYNAMIC SWINGのほうが安定感を感じますし、DYNAMIC SWING PEARLと同じラインを投球しようとすると明らかに早めに起き上がろうとする感じも出ますので、キッチリ使い分けができるでしょう。

奥での動きにメリハリ感があるので、対応コンディションでちょっとした角度が足らずにストライクアングルに入らない時にはいとも簡単に角度が取れるのを感じるでしょう。またダイナミコアもピンキャリアに絶大な効果を発揮しています。

特記事項

ミディアムコンディションで先の入射角ができるボールでは最有力で、アグレッシブな動きを得られます。軽めのスキッドの中にキッチリキャッチも感じる潜在能力が高いボールです。